

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等の安全性に配慮されているか	○			常に職員が安全の徹底をおこない、活動に応じて 間仕切り等をし、落ち着ける環境を確保している。
	2	職員の専門性は適切であるか	○			全員が専門職である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にな されているか		○		スロープ屋根や手すりの設置、はできているが その 他は改善の課題である。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返 り)に、広く職員が参画しているか	○			ミーティングや会議等で他部門の職員も交えPDCA による業務の連携をはかっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実 施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている か	○			ホームページ上で公開し頂いた意見をもとに改善に 努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で 公開しているか	○			ホームページ上で公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につな げているか			○	将来的に第三者評価も検討している。法人理事会に おいて事業報告を行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している か	○			法人内の研修だけでなく、行政や他団体主催の研 修に積極的に参加し講習内容を伝達する時間を設け 計画書を作成している。
適切な 支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を 客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成し ているか	○			保護者からのヒアリングや利用者の日々の様子を 観察し計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセス メントツールを使用しているか	○			アセスメント表Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			安全性に配慮しながら 保育士、看護師、作業療 1 法士が話し合い、活動プログラムを考えている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		定期的にミーティング等で 保護者の要望もふまえた 支援に工夫を凝めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定し て支援しているか		○		平日にできない課題や活動を職員で話し合い、長期 休暇で予定し、事前に保護者へ知らせている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わ せて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの日々の状況を個別支援計画に則りつつ、 支援中の様子や保護者からの聞き取りを踏まえ、個 別と集団の双方の面から適した支援ができるよう計 画している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる 支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝 ミーティングを行い、その日のタイムテーブル に従い支援を行う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		その日に気づいた点等は翌日の朝ミーティングで連 絡確認事項等を伝えていることが多い。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検 証・改善につなげているか	○			行った活動内容、利用者の様子について毎日の日 誌等で記録している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングを行い、評価、見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか		○		ガイドラインの総則を十分職員間で理解しきれていないのが現状である。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		関わる全員の参加が望ましいが、難しい場合がある。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		学校行事、事業所内予定等を記載した書類を作成し、保護者、学校、事業所間で行き違いが起こらないようつとめているが行き違いもみられた。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		緊急時連絡体制として徳島大学、県立中央病院、市民病院、阿南共栄病院小児科、協力医療機関との連携体制は整っているが、主治医との連携は不十分である。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			他の児童発達支援事業所、保育園、との連携に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	該当者が今までいなかったが、保護者の同意のもとに移行事業所へ情報提供していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	毎年、家族会で利用者の兄妹、姉妹が参加して交流しているが、今年度はコロナ禍の為できていない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		時間が許せば参加をしているが、参加回数は少ない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎月のお便り、連絡帳、スマホ等を利用し情報共有に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者に対してのペアレント・トレーニング等の支援にまではいたっていない。研修会の参加情報提供を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に重要事項説明書の読み上げと共に、説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日頃から保護者とのコミュニケーションを心がけず、悩み事や困っている事に対して、応えていくようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			毎年 家族会を年に数回開催し、保護者同士が交流できる機会を設けているが、今年度はコロナ禍でできていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時において重要事項説明書による・苦情等・相談窓口の説明のほか、苦情相談が出た場合には 事業所幹部での会議にて解決に向け、対応を話し合っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月のお便りを発行、どりーま通信その他必要時にお手紙を配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	、児童の指導訓練室を開放し地域の方が集うサロン、秋祭りを開催しているが、コロナ禍でできていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		防犯マニュアルに関しては 整備中であるが、その他は策定できている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		事業所として、防災委員会設置、定期的な避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			身体拘束、虐待防止委員会があり、アンケート集計や研修会を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		常に安全性を考慮した療育を職員全員で統一した方法を行っているが、個別に十分な説明を行っていきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		アレルギーに対しての聞き取りは保護者からのみとなっている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			作成したヒヤリハット事例に対して、毎回対策を話し合い、共有している。